

漢字に対する興味をどうやって子どもに植えつけるか、などということ  
はまったく考えなくていいのです。漢字に対する興味は赤ちゃんの  
ときから持っていると感じてください。

押しつけたり教え込もうとさえしなければ、子どもに特別なことをする  
必要はないのです。何もしないぐらいの気持ちでいいのです。

お使いなどはどんどんやらせるほうがいいのです。卵を五個とか、  
牛肉を300グラムとか、紙に書いてやりましょう。ただ言葉にして話すだ  
けでなく、書いて見せてやりましょう。

いろいろな機会を通して、できる限り漢字を使うようにするのは、漢  
字を毎日使っていれば、それこそ幼稚園の三年間で1000字ぐらいの漢  
字は識別できるようになります。家庭で子どもと一緒にやればい  
いのです。

ただし、私はたまたま子どもが興味を持てるような教え方を知ってい  
ましたからできましたが、教える側にも漢字の知識がなければうまくい  
かないでしょう。そういう意味では親も子どもと一緒に学習する気  
持ちが必要だと思います。

何よりも注意しなければいけないのは、間違った教え方をすることで

す。そうすると、始めは興味をもっていてもすぐに嫌になります。教え込  
むのではなく、言葉や文字を自然に使って親しませることが最も大事だ  
ということ常を常に順に入れて置かなければなりません。

幼児期というのは、いろいろなことを吸収する能力が大人には想像  
できないほど高いという認識も必要です。